

第5次三浦市総合計画（基本構想・基本計画）素案

関連資料

目次

I	次期総合計画策定要領.....	1
II	三浦市まちづくりのための市民アンケート調査結果報告書（抜粋）.....	3
III	三浦市総合計画市民ワークショップ開催結果報告（抜粋）.....	23

I 次期総合計画策定要領

Ⅰ 計画策定の基本方針

(1) 総合計画の構成及び期間等

次期総合計画については、社会経済情勢の変動の加速度が増す状況に適切に対応するため、基本構想と基本計画を一つのものとし、計画期間を令和 17 年度までの 10 年間とするとともに、目標数値及び重点施策の設定は、実施計画で行うこととする。

表：みらい創生プランと次期計画の比較

		みらい創生プラン	次期計画
基本 構 想 ・ 基 本 計 画	計画 期間	(基本構想) 平成 13 年度～令和 7 年度	令和 8 年度～令和 17 年度
		(基本計画) 平成 29 年度～令和 7 年度	
	構成	(基本構想) 将来像、基本条件、施策大 綱、目標	10 年後の展望、施策大綱（市 の将来像）、目標、施策、展開 方針
		(基本計画) 計画目標（数値目標）、施策、 展開方針（評価指標）、 重点施策の設定	
実 施 計 画	計画 期間	令和 3 年度～令和 7 年度	令和 8 年度～令和 12 年度
	構成	基本計画に定めた重点施策に ついて、基本目標の下に数値 目標、重点施策の下に K P I 及び事業を設定（地方版総合 戦略と一致）	目標数値を定めた基本目標の 下に重点施策を設定するとと もに、展開方針の下に K P I 及び事業を設定（地方版総合 戦略と一致）

(2) 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略との関係性

市町村においては、まち・ひと・しごと創生法第 10 条の規定により、国の総合戦略を勘案して、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「地方版総合戦略」という。）を定めるよう努めなければならないとされている。また、国の総合戦略と同様、地方版総合戦略を定めるに当たっても、地方公共団体における人口の現状及び将来の見通しを踏まえるよう努めることが考えられるとされている。事務の効率化及び計画相互の整合性を図る観点から、次期実施計画は「(仮称)三浦市版総合戦略（第 3 期総合戦略）」を兼ねるものとする。

(3) 市民参加

住民、産業界、関係行政機関、教育機関、金融機関、労働団体及びメディア（産官学金労言）等で構成する総合計画審議会での審議をはじめ、市民アンケート、ワークショップ及びパブリックコメントなどにより、積極的な市民参加を促すものとする。

(4) 庁内での検討組織

総合計画策定に関する庁内での検討を進めるため、関係する部課等の職員で構成するプロジェクトチームを設置する。

2 基本構想・基本計画

(1) 基本構想・基本計画の構成と策定方針

ア 10年後の展望

(ア) 市の現状と課題

(イ) 今後予測される社会経済情勢の変動

(ウ) 市民等に求められる姿勢

イ 施策大綱（市の将来像）

10年後の展望に基づき「ひと」、「まち」、「しごと」、「自然」の将来像を明示する。市役所の姿勢

ウ 目標・施策・展開方針

市の将来像実現のために掲げる行政分野別目標と10年間で展開する施策及び具体的な方針を定める。

エ 市民等の姿勢

(2) 進行管理

計画期間内における進行管理は、行政評価システムによる施策評価によって行うものとし、原則として施策の方向と基本的内容の見直し（改定）は行わない。

3 実施計画

(1) 位置付け

今後5年間で進める重点施策について、財政推計と連動した個別の実施計画事業を定めるとともに、毎年度の予算編成、事業実施の指針を定める。

なお、数値目標を定め、行政評価の対象とする。

(2) 策定方針

具体的な策定方針については、別途定めることとする。

附則

この要領は、令和7年1月10日から施行する。

Ⅱ 三浦市まちづくりのための市民アンケート調査結果報告書（抜粋）

1 調査の目的

令和8年度を初年度とする総合計画（基本構想・基本計画）を策定するにあたり、市民からの意見を踏まえ、計画策定の基礎資料とするため調査を実施しました。

2 調査対象

市民：市内在住の16歳以上の市民2,000人を対象に無作為抽出

3 調査期間

令和7年3月13日～3月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000 件	756 件	37.8%

6 調査結果（抜粋）

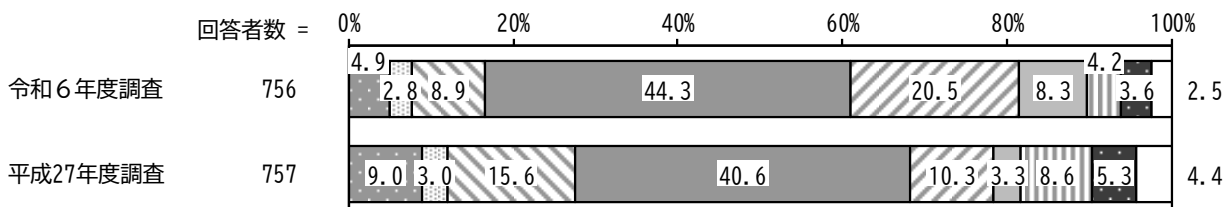
【あなたのお住いの周辺環境と今後の定住について】

（1）あなたのお住まいの地区の人口減少の度合いについて、10年前と比べてどのように感じていますか。（〇は1つ）

「人口は徐々に減っている」の割合が44.3%と最も高く、次いで「人口はかなり減っている」の割合が20.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「人口はかなり減っている」の割合が増加しています。一方、「若者は少なくなったが人口はそんなに減っていない」の割合が減少しています。

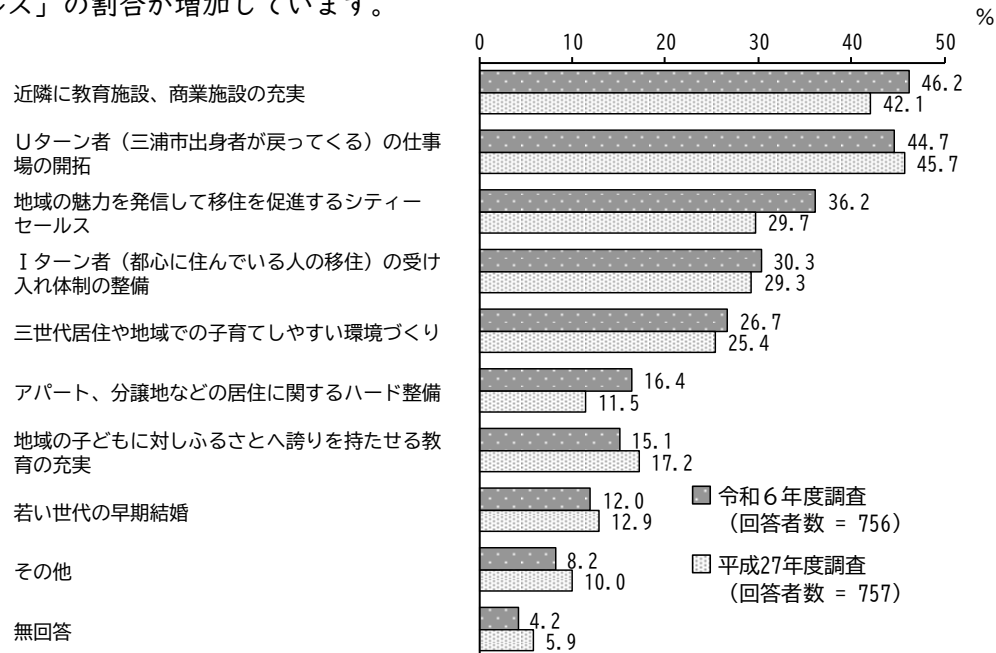
- 人口は増えていると思う
- ▨ 若者も多く人口が減っているとは思わない
- ▨ 若者は少なくなったが人口はそんなに減っていない
- 人口は徐々に減っている
- ▨ 人口はかなり減っている
- ▨ 地区の消滅の危機があるくらい人口が減っているように感じる
- ▨ 変化していない
- その他
- 無回答



(2) あなたの地区で人口を増やすために必要な取組は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「近隣に教育施設、商業施設の充実」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「Uターン者（三浦市出身者が戻ってくる）の仕事場の開拓」の割合が 44.7%、「地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス」の割合が 36.2%となっています。

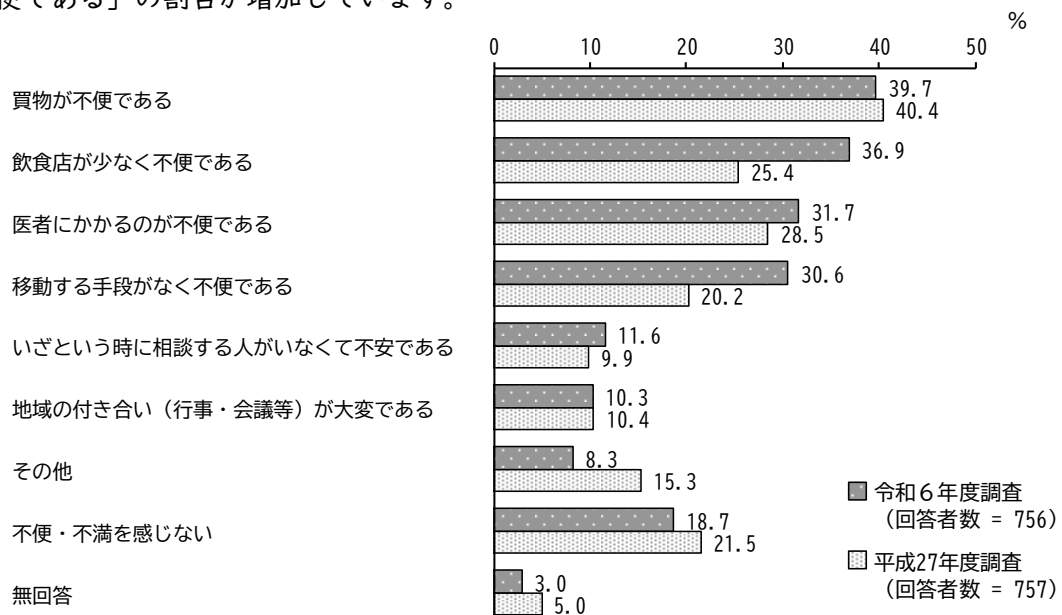
平成 27 年度調査と比較すると、「地域の魅力を発信して移住を促進するシティーセールス」の割合が増加しています。



(3) あなたは生活する上で不便・不満を感じることはありますか。(〇はいくつでも)

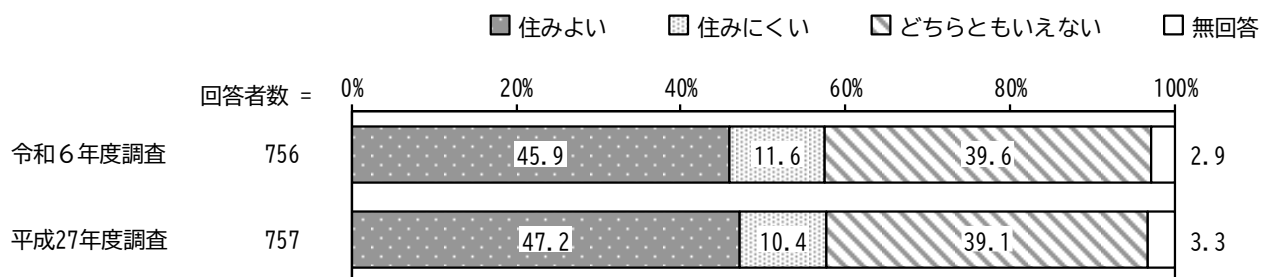
「買物が不便である」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「飲食店が少なく不便である」の割合が 36.9%、「医者にかかるのが不便である」の割合が 31.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「飲食店が少なく不便である」「移動する手段がなく不便である」の割合が増加しています。



(4) あなたにとって三浦市は住みよいですか。(○は1つ)

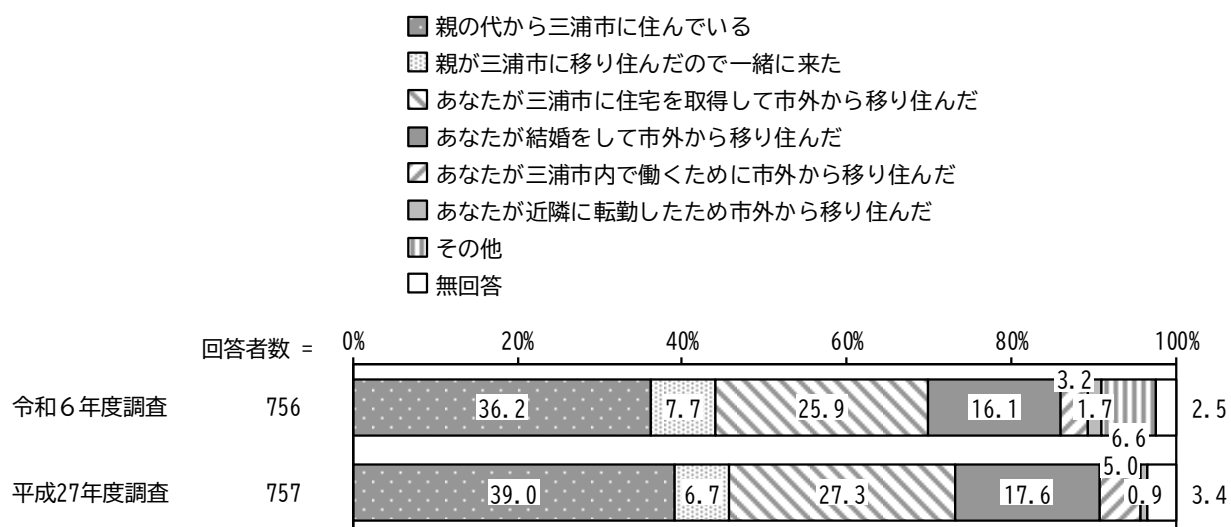
「住みよい」の割合が45.9%、「住みにくい」の割合が11.6%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) あなたが三浦市に住むことになったきっかけは次のうちどれですか。(○は1つ)

「親の代から三浦市に住んでいる」の割合が36.2%と最も高く、次いで「あなたが三浦市に住宅を取得して市外から移り住んだ」の割合が25.9%、「あなたが結婚をして市外から移り住んだ」の割合が16.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

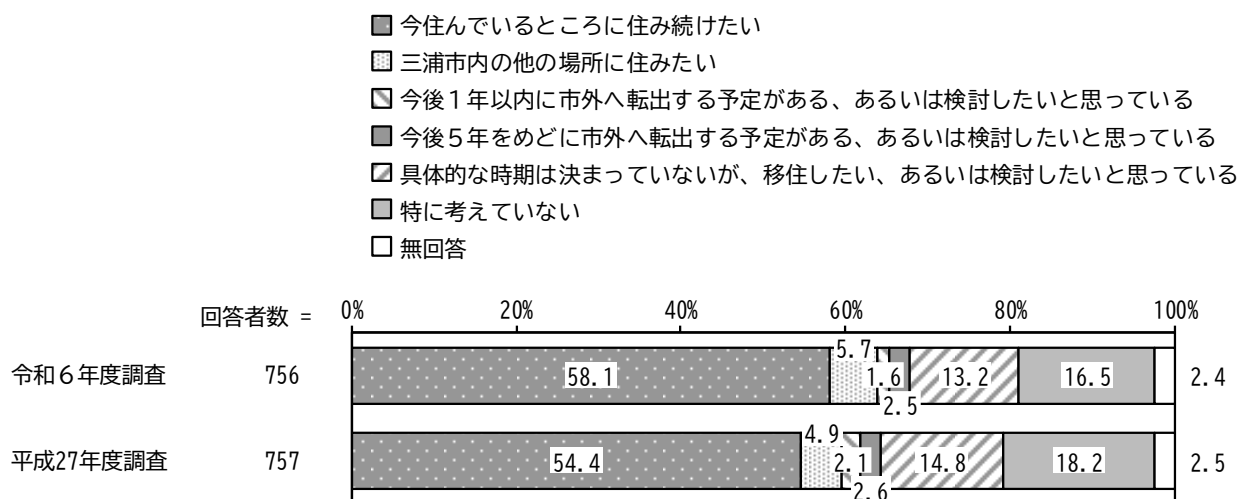


※平成27年度調査では、「その他」がありませんでした。

(6) 今後、三浦市に住み続けたいですか。(○は1つ)

「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「特に考えていない」の割合が 16.5%、「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」の割合が 13.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「今住んでいるところに住み続けたい」の割合が増加しています。

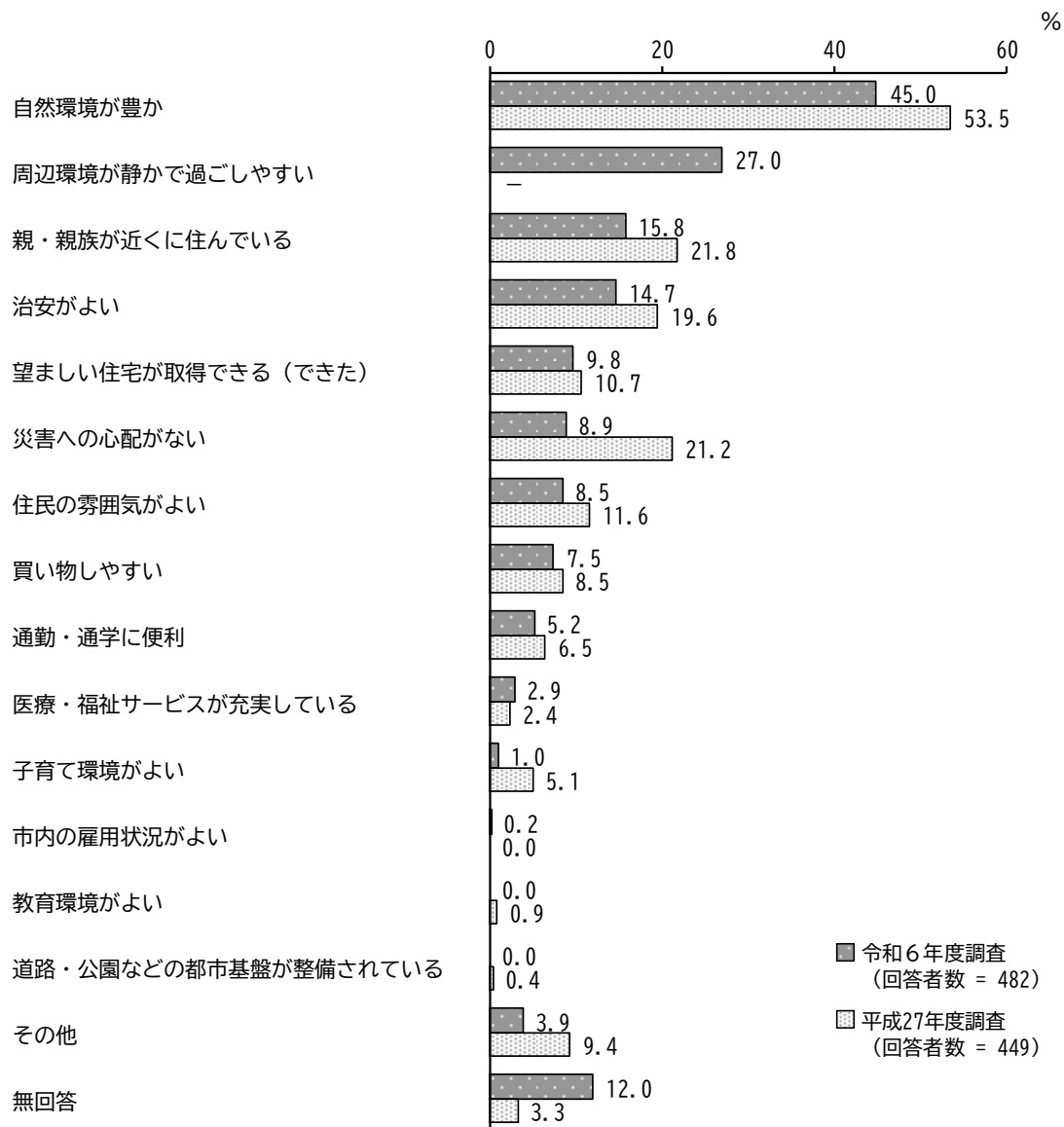


(6)で「今住んでいるところに住み続けたい」または「三浦市内の他の場所に住みたい」に○をつけた方におたずねします。

(6)-① 三浦市に住み続けたい理由はなんですか。(○は2つまで)

「自然環境が豊か」の割合が45.0%と最も高く、次いで「周辺環境が静かで過ごしやすい」の割合が27.0%、「親・親族が近くに住んでいる」の割合が15.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「災害への心配がない」「自然環境が豊か」「親・親族が近くに住んでいる」の割合が減少しています。



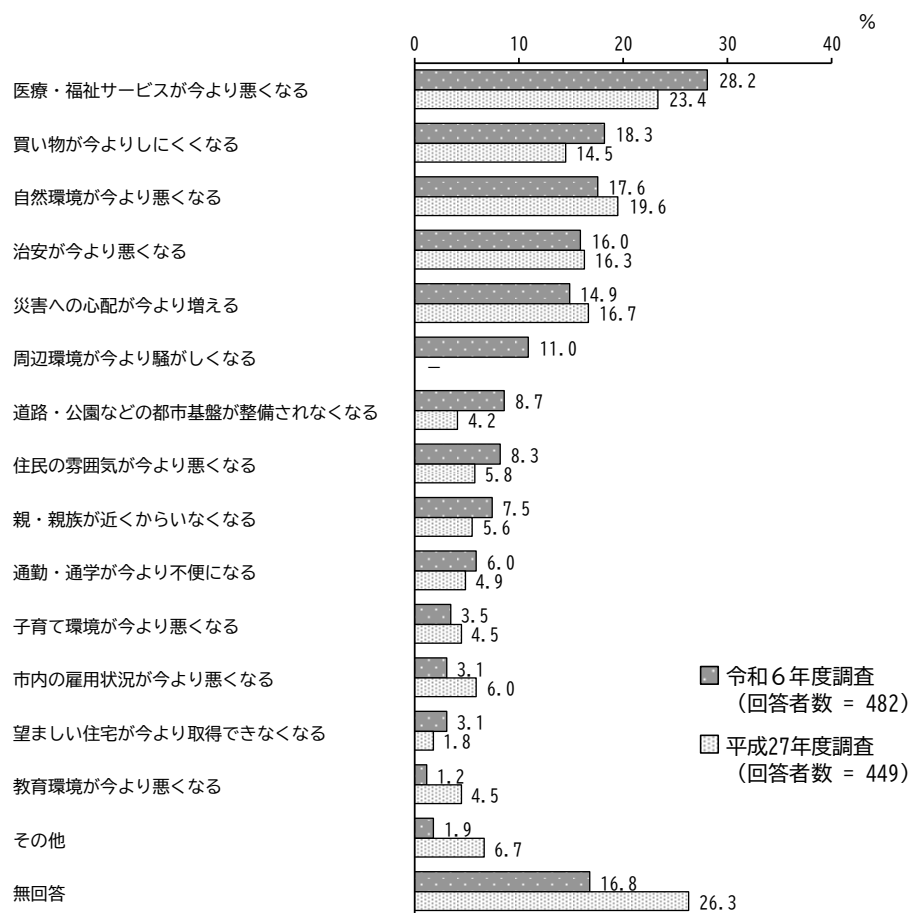
※平成27年度調査では、「医療・福祉サービスが充実している」が「福祉サービスが充実している」となっており、「周辺環境が静かで過ごしやすい」がありませんでした。

(6) で「今住んでいるところに住み続けたい」または「三浦市内の他の場所に住みたい」に○をつけた方におたずねします。

(6) -②三浦市に住み続けたいという気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。
(○は2つまで)

「医療・福祉サービスが今より悪くなる」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「買い物が今よりしにくくなる」の割合が 18.3%、「自然環境が今より悪くなる」の割合が 17.6%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「医療・福祉サービスが今より悪くなる」「道路・公園などの都市基盤が整備されなくなる」の割合が増加しています。



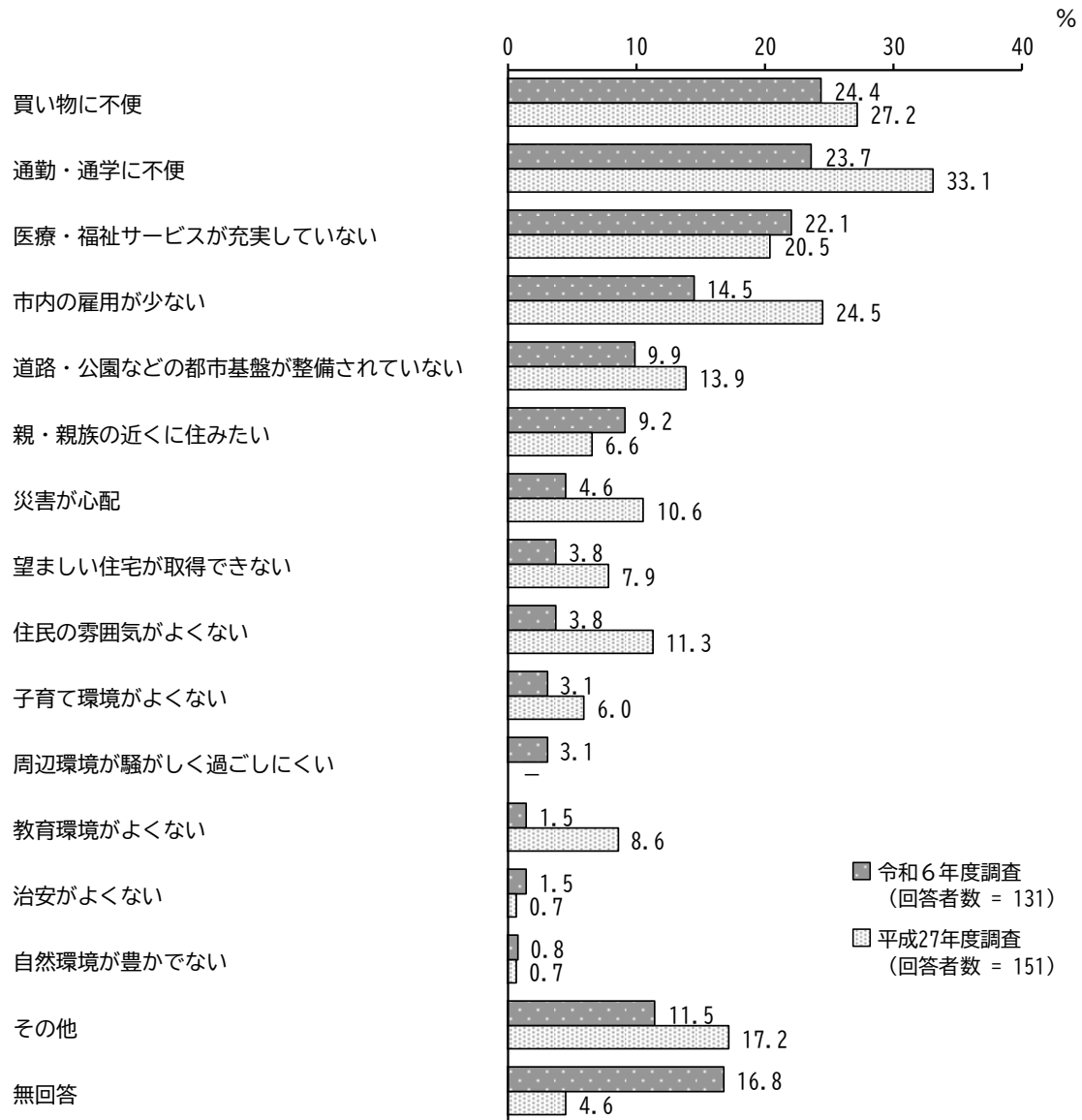
※平成 27 年度調査では、「医療・福祉サービスが今より悪くなる」が「福祉サービスが今より悪くなる」となっており、「周辺環境が今より騒がしくなる」がありませんでした。

(6)で「今後1年以内に市外へ転出する予定がある、あるいは検討したいと思っている」～「具体的な時期は決まっていないが、移住したい、あるいは検討したいと思っている」に○をつけた方におたずねします。

(6) -③三浦市から転出したい理由はなんですか。(○は2つまで)

「買い物に不便」の割合が24.4%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便」の割合が23.7%、「医療・福祉サービスが充実していない」の割合が22.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「教育環境がよくない」「災害が心配」「市内の雇用が少ない」「通勤・通学に不便」「住民の雰囲気がよくない」の割合が減少しています。



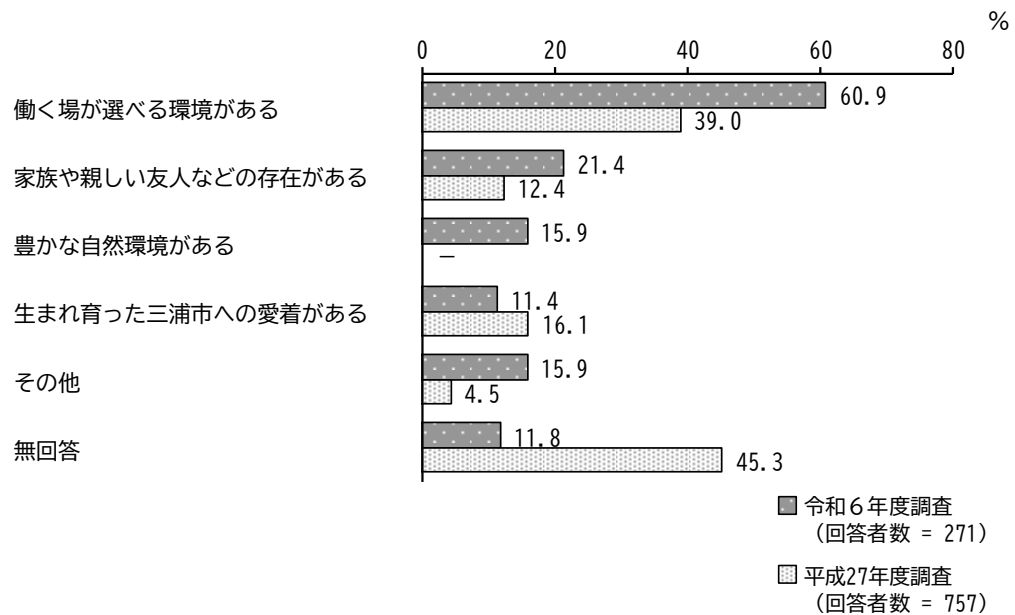
※平成27年度調査では、「医療・福祉サービスが充実していない」が「福祉サービスが充実していない」となっており、「周辺環境が騒がしく過ごしにくい」がありませんでした。

【「Uターン」や「Iターン」について】

(7) 市外に住んでいる兄弟や子ども、孫が戻ってくる（Uターン）ために必要なことは何ですか。（〇はいくつでも）

「働く場が選べる環境がある」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「家族や親しい友人などの存在がある」の割合が 21.4%、「豊かな自然環境がある」の割合が 15.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「働く場が選べる環境がある」「家族や親しい友人などの存在がある」の割合が増加しています。



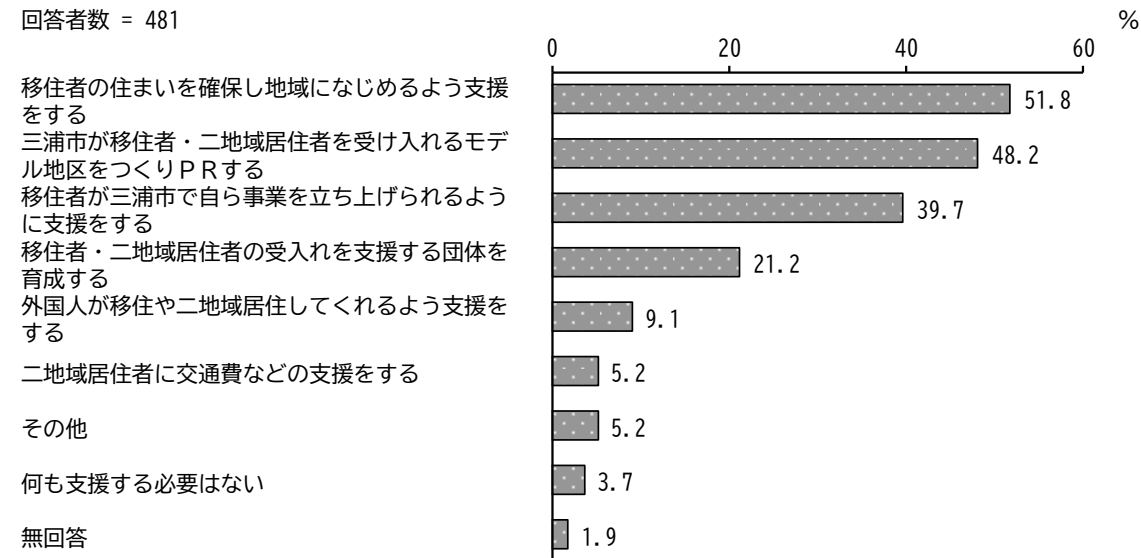
※平成 27 年度調査では、「生まれ育った三浦市への愛着がある」が「生まれ育った環境で子育てをしたいと思える三浦市への愛着がある」、「家族や親しい友人などの存在がある」が「三浦市に帰ってくることを待っている家族や友人などの存在がある」となっており、「豊かな自然環境がある」がありませんでした。

(7)で「どんどん増やしたらいい」または「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」に○をつけた方におたずねします。

(7)－① 三浦市が移住者（Iターン）や二地域居住者（都心と三浦市の両方に住む人）を増やそうとした場合、どのような支援策があったらよいと思いますか。（○はいくつでも）

「移住者の住まいを確保し地域になじめるよう支援をする」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「三浦市が移住者・二地域居住者を受け入れるモデル地区をつくりPRする」の割合が 48.2%、「移住者が三浦市で自ら事業を立ち上げられるように支援をする」の割合が 39.7%となっています。

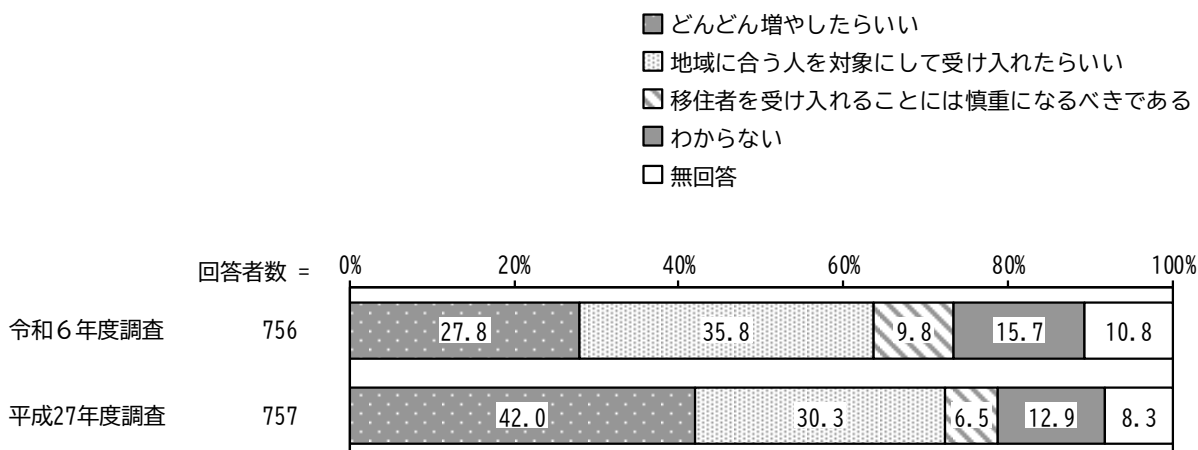
回答者数 = 481



(8) 三浦市を活性化するためには、外部からの移住者（Iターン）を増やすという考えがあります。あなたはこれについてどう思いますか。（○は1つ）

「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「どんどん増やしたらいい」の割合が 27.8%、「わからない」の割合が 15.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域に合う人を対象にして受け入れたらいい」の割合が増加しています。一方、「どんどん増やしたらいい」の割合が減少しています。

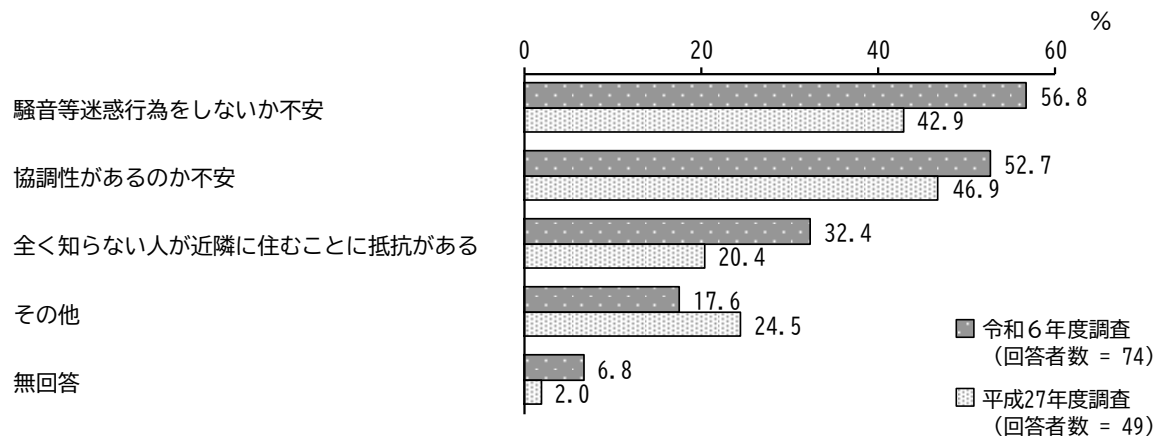


(8)で「移住者を受け入れることには慎重になるべきである」に○をつけた方におたずねします。

(8)－①移住者（Iターン）を受け入れられない理由として何があるのかお答えください。（○はいくつでも）

「騒音等迷惑行為をしないか不安」の割合が56.8%、「協調性があるのか不安」の割合が52.7%、「全く知らない人が近隣に住むことに抵抗がある」の割合が32.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「全く知らない人が近隣に住むことに抵抗がある」「協調性があるのか不安」「騒音等迷惑行為をしないか不安」の割合が増加しています。



【行政サービスや必要な施策について】

(9) 下記の三浦市の取組（施策）23 項目について満足度の高いもの（3つ）と不満足であるもの（3つ）を記入してください。また、10 年後の将来、三浦市が着実に成長できる都市であるためには、財源に限りがある中で、今後重点的に取り組むべきと考えるもの（3つ）を記入してください。（それぞれについて 1～23 の番号を記入してください。）

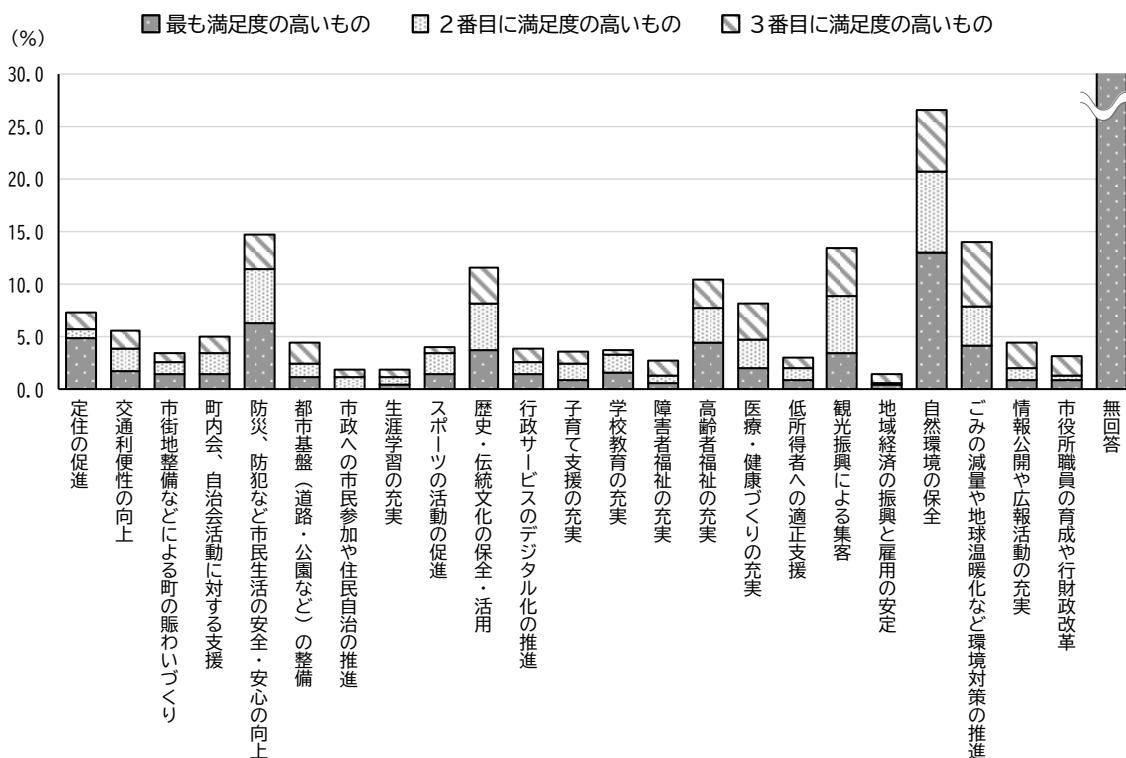
ア 満足度の高いもの

最も満足度の高いものとして最も多かったのは「自然環境の保全」の割合が 13.0%、次いで「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」の割合が 6.2%、「定住の促進」の割合が 4.8%となっています。

2 番目に満足度の高いものとして最も多かったのは「自然環境の保全」の割合が 7.7%、次いで「観光振興による集客」の割合が 5.4%、「防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上」の割合が 5.2%となっています。

3 番目に満足度の高いものとして最も多かったのは「ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進」の割合が 6.1%、次いで「自然環境の保全」の割合が 5.8%、「観光振興による集客」の割合が 4.6%となっています。

区分	回答者数（件）	単位：％																						
		定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市政への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市役所職員の育成や行財政改革
最も満足度の高いもの	756	4.8	1.7	1.3	1.3	6.2	1.1	0.0	0.3	1.3	3.6	1.3	0.8	1.5	0.5	4.4	1.9	0.8	3.4	0.4	13.0	4.1	0.8	44.8
2 番目に満足度の高いもの	756	0.9	2.1	1.2	2.1	5.2	1.2	1.1	0.8	2.1	4.5	1.2	1.5	1.7	0.7	3.3	2.8	1.1	5.4	0.1	7.7	3.7	1.1	48.3
3 番目に満足度の高いもの	756	1.5	1.7	0.9	1.6	3.3	2.0	0.7	0.7	0.5	3.4	1.3	1.2	0.5	1.5	2.6	3.4	1.1	4.6	0.8	5.8	6.1	2.4	50.5



3番目に不満足であるものとして最も多かったのは「都市基盤（道路・公園など）の整備」の割合が6.7%、次いで「医療・健康づくりの充実」の割合が6.2%、「交通利便性の向上」の割合が5.6%となっています。

ウ 重点的に取り組むべきこと

最も重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「交通利便性の向上」の割合が9.8%、次いで「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が9.5%、「定住の促進」の割合が7.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が減少しています。

2番目に重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「医療・健康づくりの充実」の割合が7.1%、次いで「交通利便性の向上」の割合が7.0%となっています。

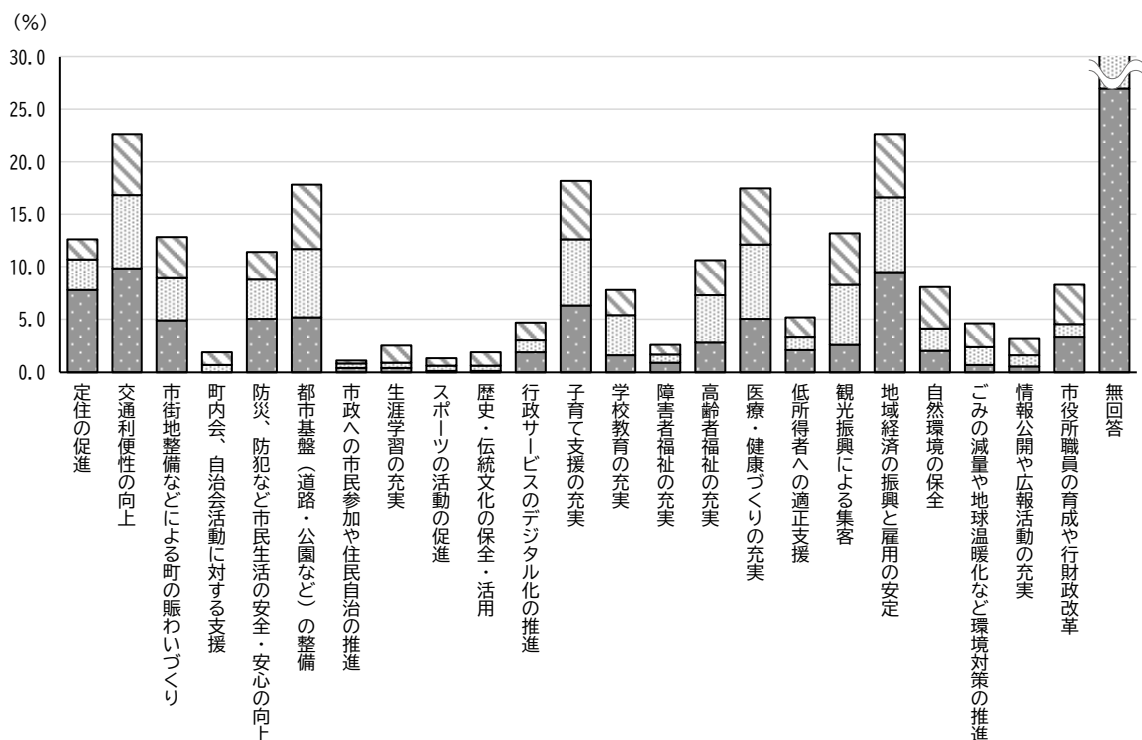
平成27年度調査と比較すると、「医療・健康づくりの充実」の割合が増加しています。

3番目に重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは「都市基盤（道路・公園など）の整備」の割合が6.1%、次いで「地域経済の振興と雇用の安定」の割合が6.0%、「交通利便性の向上」の割合が5.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「医療・健康づくりの充実」の割合が増加しています。

区分	回答者数（件）	定住の促進	交通利便性の向上	市街地整備などによる町の賑わいづくり	町内会、自治会活動に対する支援	防災、防犯など市民生活の安全・安心の向上	都市基盤（道路・公園など）の整備	市政への市民参加や住民自治の推進	生涯学習の充実	スポーツの活動の促進	歴史・伝統文化の保全・活用	行政サービスのデジタル化の推進	子育て支援の充実	学校教育の充実	障害者福祉の充実	高齢者福祉の充実	医療・健康づくりの充実	低所得者への適正支援	観光振興による集客	地域経済の振興と雇用の安定	自然環境の保全	ごみの減量や地球温暖化など環境対策の推進	情報公開や広報活動の充実	市役所職員の育成や行財政改革	無回答
最も重点的に取り組むべきこと	756	7.8	9.8	4.9	0.0	5.0	5.2	0.4	0.4	0.1	0.1	1.9	6.3	1.6	0.9	2.8	5.0	2.1	2.6	9.5	2.0	0.7	0.5	3.3	27.0
2番目に重点的に取り組むべきこと	756	2.9	7.0	4.1	0.7	3.8	6.5	0.4	0.5	0.5	0.5	1.1	6.3	3.8	0.8	4.5	7.1	1.2	5.7	7.1	2.1	1.7	1.1	1.2	29.2
3番目に重点的に取り組むべきこと	756	1.9	5.8	3.8	1.2	2.6	6.1	0.3	1.6	0.7	1.3	1.7	5.6	2.4	0.9	3.3	5.4	1.9	4.9	6.0	4.0	2.2	1.6	3.8	31.1

■ 最も重点的に取り組むべきこと ▨ 2番目に重点的に取り組むべきこと ▩ 3番目に重点的に取り組むべきこと



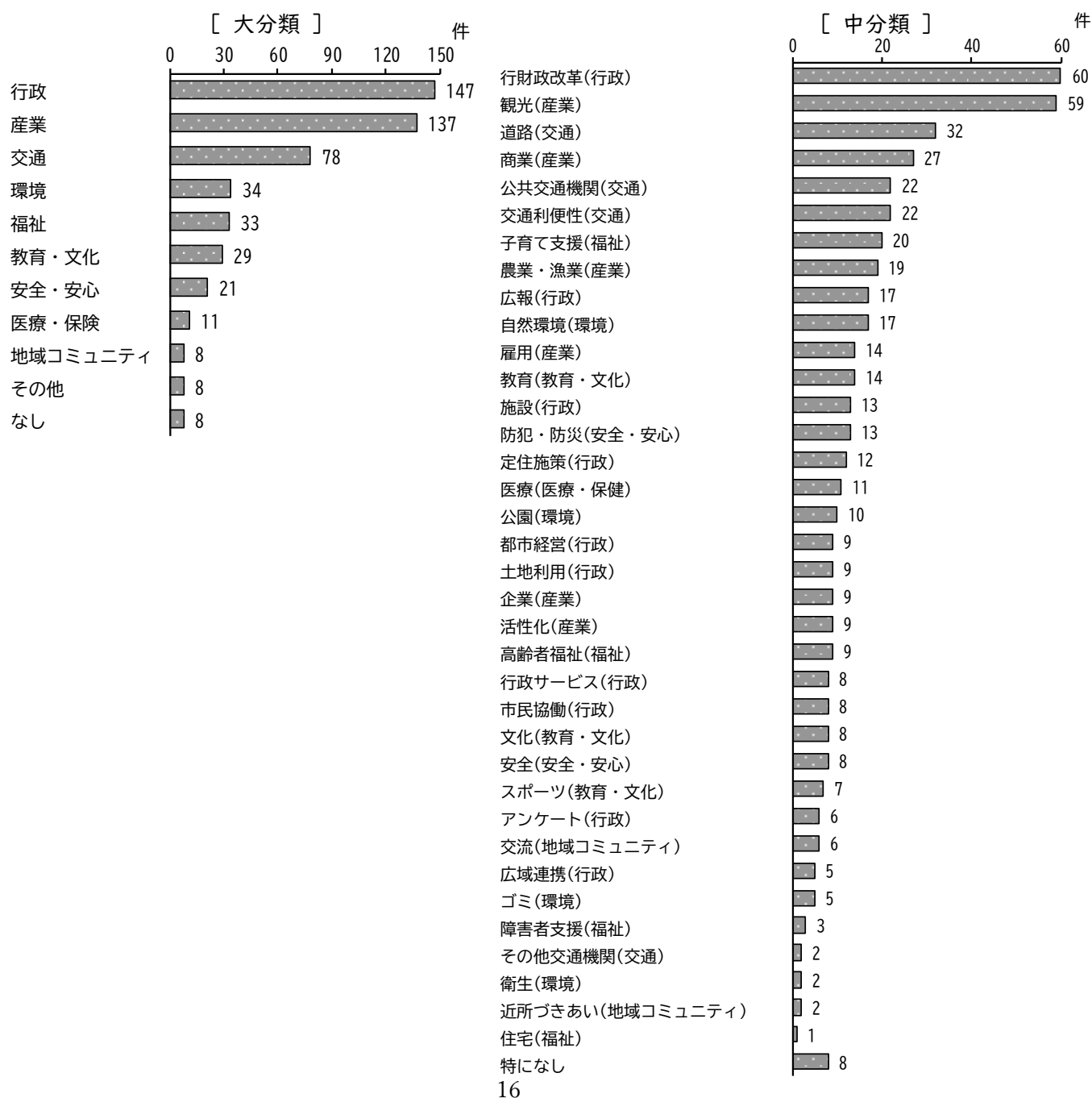
(10) 三浦市が今後も活力あるまちであり続けるために、ご意見やご提案をご記入ください。(自由記載)

三浦市についての意見や提案として、248 件の具体的な記述があり、計 514 件の意見が出されました。

大分類の内訳としては、「行政」147 件、「産業」137 件、「交通」78 件、「環境」34 件、「福祉」33 件、「教育・文化」29 件、「安全・安心」21 件、「医療・保健」11 件、「地域コミュニティ」8 件、「その他」8 件、「なし」8 件となっており、行政に対する意見が最も多くなっています。

中分類を見ると、「行政」の「行財政改革」が 60 件で最も多くなっています。以下、「産業」の「観光」(59 件)、「交通」の「道路」(32 件)、「産業」の「商業」(27 件)などとなっています。

さらに個別に小分類の内容を見ると、最も多く出されていたのは「道路整備」(「交通－道路」)「交通利便性の向上」(「交通－交通利便性」)15 件、「防犯・災害の対策」(「安全・安心－防犯・防災」)12 件などとなっています。(次ページ表を参照)



行政		件数	交通		件数
行政	行財政改革	147	交通	道路	78
	行財政改革の実施	60		道路整備	32
	税金の有効活用	11		渋滞の緩和	15
	税金等の見直し	7		歩道の整備	9
	議員数の削減	6		高速道路の延伸	6
	議員の資質向上	5		公共交通機関	2
	窓口業務等のデジタル化	5		バス路線の整備	22
	議員・職員への若い人材の登用	4		バス路線の整備	11
	外国人受け入れの制限	4		鉄道網の整備	4
	議員の資質向上	4		バスの改善	4
	満足できる施策がない	3		電車とバスの連携	2
	町内会の維持・改善	3		駅の整備	1
	議員・職員のモチベーション向上	2		交通利便性	22
	経費の削減	1		交通利便性の向上	15
	職員は三浦市在住とすべき	1		駐車場の整備・充実	5
	議員報酬の削減	1		都心へのアクセスの改善	2
	職員の増員	1		その他交通機関	2
	施策の見直し	1		車以外の移動手段の充実	2
	広報	17		環境	34
	魅力のアピールすべき	9		自然環境	17
	PRの充実	6		豊かな自然環境を活かしたまちづくり	10
	メディア利用のプロモーション	1		自然環境の保全	7
	イメージアップ戦略	1		公園	10
	施設	13		公園の整備、充実	10
	公共施設の整備	5		ゴミ	5
	市役所の移転	4		ゴミ問題の解決	3
	空き家の有効活用	4		街の美化、清掃	1
	定住施策	12		ゴミ分別の見直し	1
	若者の定住促進	4		衛生	2
	他県の人にアピールする施策	4		下水道の整備	2
	定年後の定住促進	1		福祉	33
	富裕層の定住促進	1		子育て支援	20
	Uターン支援	1		子育て支援の充実	7
	安全な賃貸住宅の建設	1		子どもの遊び場	7
	都市経営	9		若者が定住できるような子育て支援策	5
	活気のあるまちづくり	3		手当の拡充	1
	魅力あるまちづくり	3		高齢者福祉	9
	身の丈に合った都市経営	2		高齢者が定住できる福祉の充実	7
	活力がない	1		健康・長寿施策の充実	1
	土地利用	9		高齢者の生活利便性向上	1
	土地の有効活用	8		障害者支援	3
	市街化地域の見直し	1		障害者福祉の充実	2
	行政サービス	8		障害者施設の増設	1
	行政サービスの充実	7		住宅	1
	出張所の設置	1		手当の拡充	1
	市民協働	8		教育・文化	29
	住民意見の聴取・反映	6		教育	14
	外部人材の登用、意見の活用	1		学校教育の充実	7
	市民参画の促進	1		教育環境の整備	6
	アンケート	6		大学誘致	1
	アンケート手法の見直し	3		文化	8
	アンケートは無意味だと思う	2		文化的施設・企画の充実	4
	実行することに意味がある	1		郷土文化の継承	3
	広域連携	5		図書館の整備	1
	三浦半島全体を視野に入れた政策	5		スポーツ	7
産業	観光	137		スポーツ施設の充実	3
	観光の拡充、リゾート施設充実	10		スポーツの振興	2
	娯楽施設の充実	10		スポーツイベントの改善	2
	道の駅	8		安全・安心	21
	新しい観光資源の発掘	6		防犯・防災	13
	自然、海を活かした観光	5		防犯・災害の対策	12
	さくらまつり	5		防災情報発信の拡充	1
	駅周辺の魅力化	5		安全	8
	イベント	4		治安維持	7
	トイレの整備	3		子どもの安全	1
	季節を問わない観光対策	2		医療・保健	11
	城ヶ島の観光	1		医療	11
	商業	27		病院・医療体制の充実	11
	駅周辺の商業振興	8		地域コミュニティ	8
	商店街の活性化	8		交流	6
	商業の振興	6		交流できる場所が必要	4
	大型店舗の誘致	5		交流ができる企画の充実	2
	農業・漁業	19		近所づきあい	2
	農業、漁業の復興	11		閉鎖的な人が多い	1
	農畜水産物の販路充実	4		親密な関係を築けている	1
	若者の就労支援、農業体験	4		なし	8
	雇用	14		特になし	8
	雇用の創出	9		特になし	8
	若者が働く場の創出	4		その他	8
	障害者雇用の充実	1		その他	8
	企業	9		総計	514
	企業誘致	7			
	先端企業の誘致	2			
	活性化	9			
	産業の活性化	5			
	産業の育成	4			

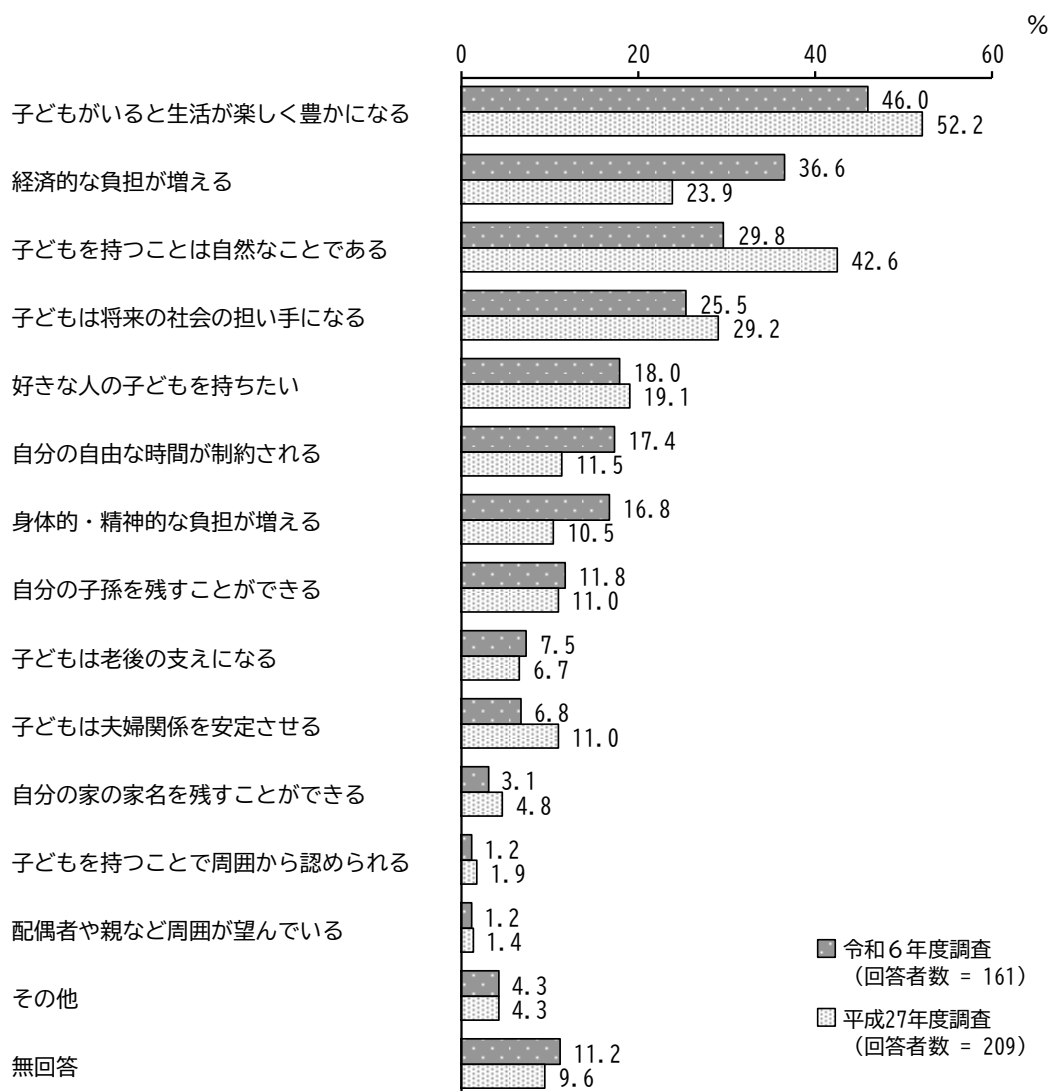
【出産・子育てについて】

(11) から (14) は、10 代～40 代のすべての方にお聞きします。

(11) 子どもを持つことについての考え方をお答えください。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は3つまで)

「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「経済的な負担が増える」の割合が 36.6%、「子どもを持つことは自然なことである」の割合が 29.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「自分の自由な時間が制約される」「経済的な負担が増える」「身体的・精神的な負担が増える」の割合が増加しています。一方、「子どもを持つことは自然なことである」「子どもがいると生活が楽しく豊かになる」の割合が減少しています。

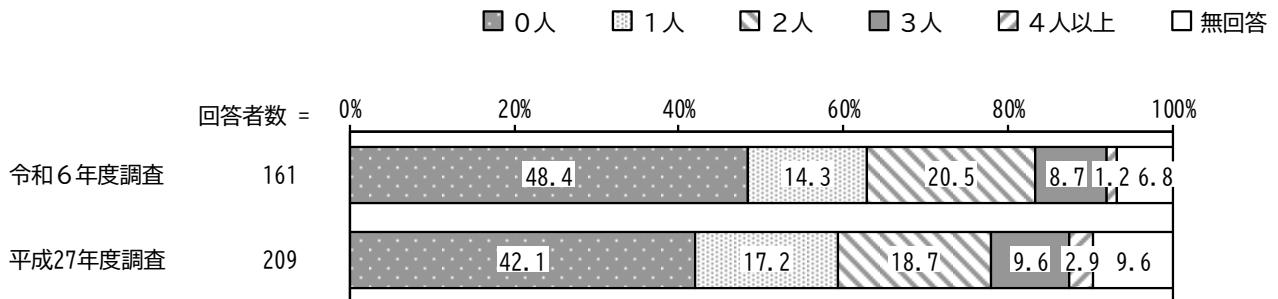


※平成 27 年度調査では、「好きな人の子どもを持ちたい」が「好きな人の子どもを持ちたいから子どもを持つ」、「配偶者や親など周囲が望んでいる」が「配偶者や親など周囲が望むから子どもを持つ」となっていました。

(12) 現在の子どもの人数をお答えください。(○は1つ)

「0人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「2人」の割合が20.5%、「1人」の割合が14.3%となっています。

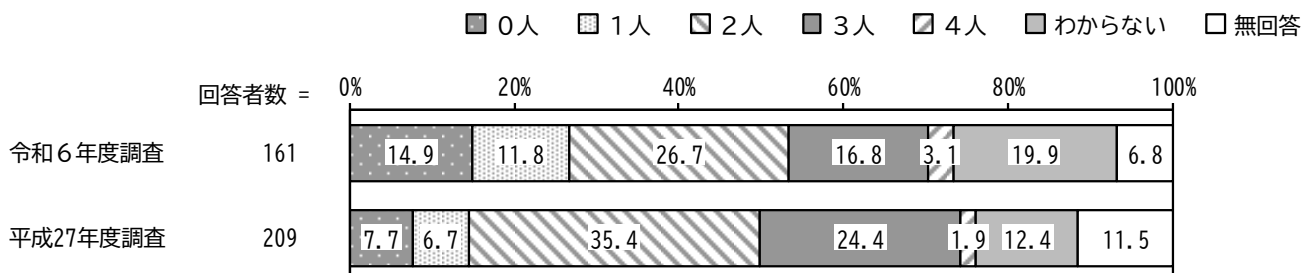
平成27年度調査と比較すると、「0人」「2人」の割合が増加しています。



(13) 希望する子どもの人数をお答えください。(○は1つ)

「2人」の割合が26.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.9%、「3人」の割合が16.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「0人」「1人」「わからない」の割合が増加しています。一方、「2人」「3人」の割合が減少しています。

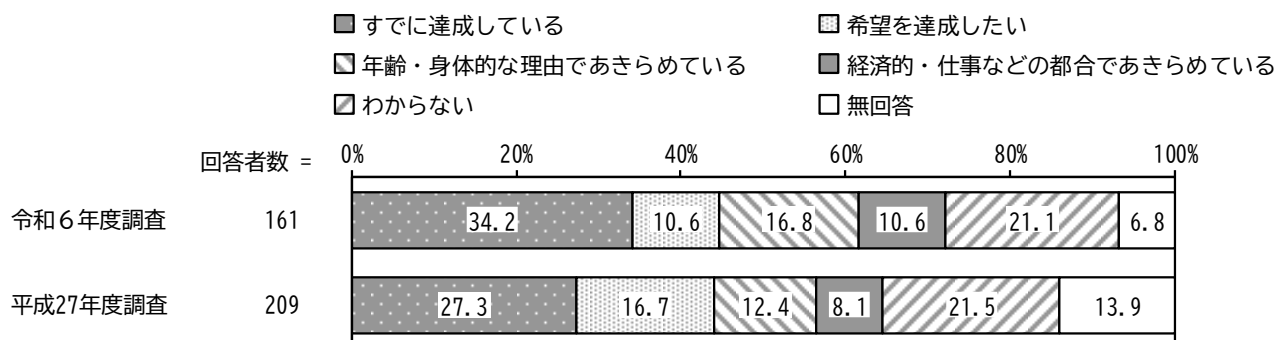


※平成27年度調査では、「4人」が「4人以上」となっていました。

(14) 希望する子どもの人数についての見通しをおたずねします。(〇は1つ)

「すでに達成している」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.1%、「年齢・身体的な理由であきらめている」の割合が 16.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「すでに達成している」の割合が増加しています。一方、「希望を達成したい」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「年齢・身体的な理由であきらめている」が「子どもはもっと欲しいが年齢・身体的な理由であきらめている」、「経済的・仕事などの都合であきらめている」が「子どもはもっと欲しいが経済的・仕事などの都合であきらめている」となっていました。

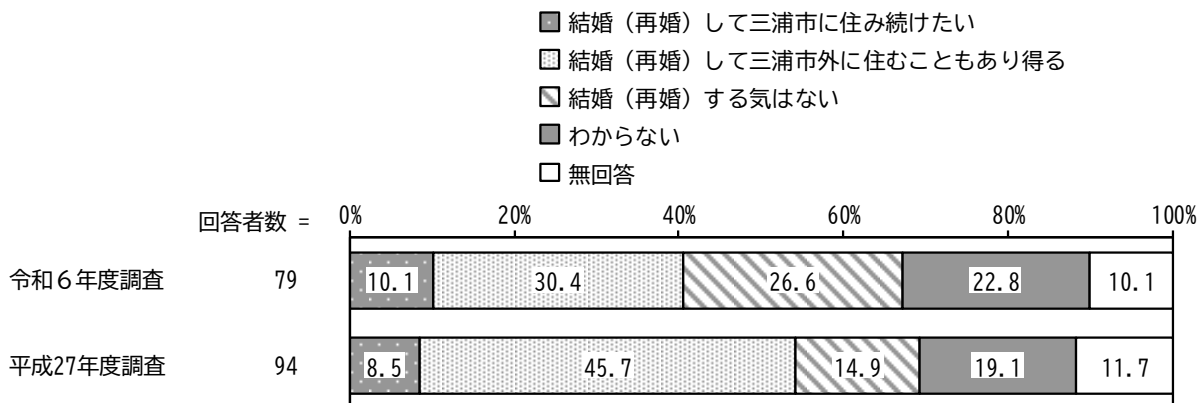
【結婚について】

(15) ～ (16) は、10代～40代の独身の方にお聞きします。

(15) あなたの結婚についての考え方はどれに該当しますか。(○は1つ)

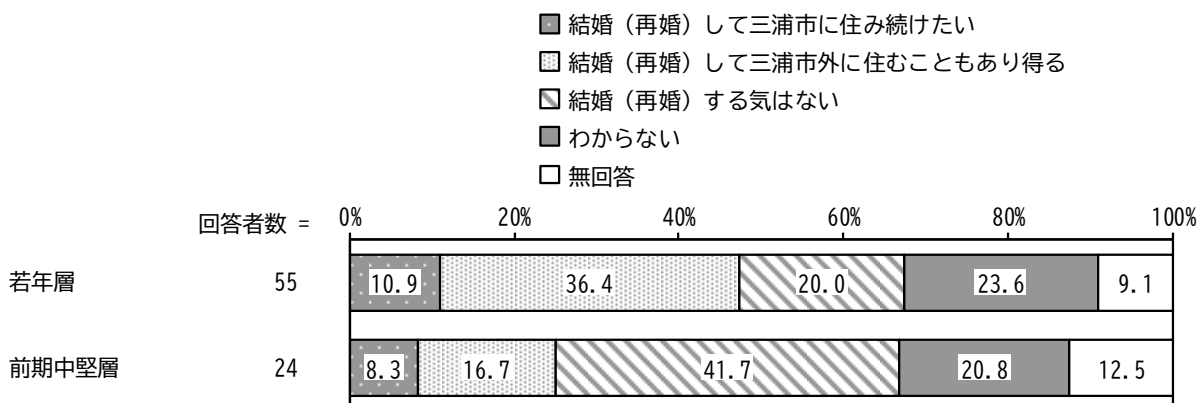
「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」の割合が30.4%と最も高く、次いで「結婚（再婚）する気はない」の割合が26.6%、「わからない」の割合が22.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「結婚（再婚）する気はない」の割合が増加しています。一方、「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」の割合が減少しています。



【年齢層別】

年齢層別にみると、若年層では「結婚（再婚）して三浦市外に住むこともあり得る」、前期中堅層では「結婚（再婚）する気はない」の割合が最も高くなっています。

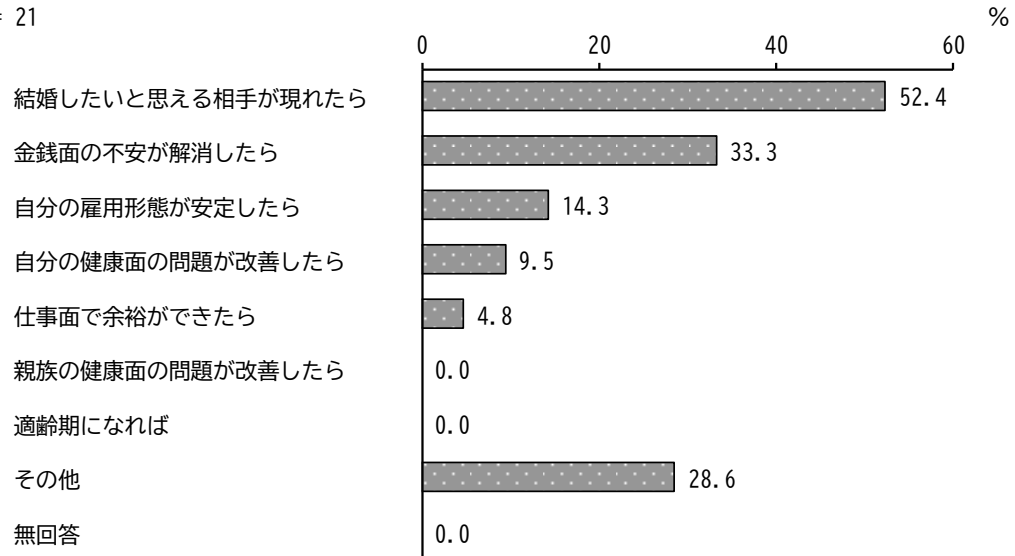


(15) で「結婚（再婚）する気はない」に○をつけた方におたずねします。

(15) - ①あなたはどのような条件が整えば結婚の意思が強まりますか。(○は2つ)

「結婚したいと思える相手が現れたら」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「金銭面の不安が解消したら」の割合が 33.3%、「自分の雇用形態が安定したら」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 21

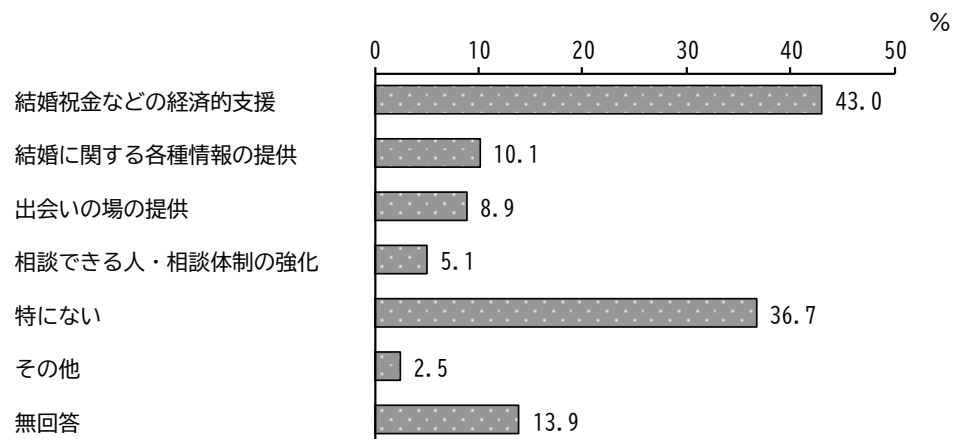


(16) 結婚について三浦市に期待することは何ですか。(○は2つ)

問 29 結婚について三浦市に期待することは何ですか。(○は2つ)

「結婚祝金などの経済的支援」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 36.7%、「結婚に関する各種情報の提供」の割合が 10.1%となっています。

回答者数 = 79



Ⅲ 三浦市総合計画市民ワークショップ開催結果報告（抜粋）

1 市民ワークショップの開催結果概要

現在、三浦市では、令和8年度から令和17年度を計画期間とする総合計画（基本構想・基本計画）の策定を進めています。

次期総合計画策定にあたっては、「市民によるまちづくり」の視点から、三浦市の将来都市像等について、市民の皆さんのご意見を広く聴取することを目的として、市民アンケート、市民ワークショップ及びパブリックコメントにより、積極にご意見をいただく機会を設けることとしました。

市民ワークショップは、以下の日程で、幅広い世代、様々な職業の方々と構成するグループに分かれ、テーマごとの取組やアイデアについてのご意見をいただきました。

回	日 時	場 所	参加人数
第1回	令和7年5月31日(土) 9:00～12:00	南下浦町コミュニティセンター 2階多目的室Ⅰ	Aグループ：7名 Bグループ：7名
第2回	令和7年6月7日(土) 14:00～17:00		Cグループ：7名 Dグループ：8名

今回の市民ワークショップには、市民公募や各分野に精通した様々な職業（学生（小・中・高）、教育・地域活動・スポーツ関係者、農業・漁業・商工業・観光業関係者、福祉・健康関係者、消防団等）の方々、2日間合計で29名の方にご参加いただきました。

どのグループにおいても三浦市をよりよくするための取組やアイデアについて、活発な意見交換が行われ、次期総合計画策定の参考となる貴重なご意見を多数いただきました。

（1）当日のプログラム

ア 総合計画の趣旨説明

イ 三浦市の現状説明（人口の推移・推計やアンケート調査の結果）

ウ こどもまんなか市民会議の結果概要説明

エ ワークショップ

（ア）テーマ1 10年後、どのような三浦市になっていてほしいか（三浦市の将来像）

（イ）テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

（ウ）テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

(2) テーマ別の共通意見

ア テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか（三浦市の将来像）

- (ア) 誰もが安心して暮らせるまち
- (イ) 子育てしやすい・子どもにやさしいまち
- (ウ) 交通の利便性の向上
- (エ) しごとがたくさんあるまち
- (オ) 多くの観光客が訪れるまち
- (カ) 自然と共存したまち

イ テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- (ア) 【強み】
 - a 人のあたたかさ・地域のつながり
 - b 第一次産業（農業・漁業）の強さ
 - c 自然環境の豊かさ（海・野菜・魚などの資源）
- (イ) 【弱み】
 - a 医療・出産環境の不足
 - b 交通の不便さ（公共交通の不足、道路の整備など）
 - c インフラの整備・管理が不足している
 - d 農業後継者問題、働き場所が少ない

ウ テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

- (ア) ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）
 - a 子育て支援、障がい者や高齢者への支援体制の充実
 - b 子どもの遊び場や学習環境の整備
 - c 未病対策
 - d 市立病院の充実、予防医療、医師不足の改善
- (イ) まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）
 - a 地域の交流促進

- b 避難訓練などの防災意識の向上と強化

- c バリアフリーや歩道整備、公共インフラの整備

(ウ) しごと（産業振興・観光）

- a 仕事や雇用の創出

- b 地産地消・特産品のブランド化

- c 市民と観光客の交流促進

(エ) 自然（自然・環境）

- a 自然を大切にする

- b 自然の活用、自然体験の提供

(3)各グループの意見

ア Aグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 子育てがしやすくなるまち
- b 安全・安心のまち
- c 交通の便が良いまち、街灯が多いまち
- d 海を活用した海業のまち、観光客がリピーターになってくれるまち
- e 自然を感じる

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

a 《強み》 (a) 人のつながり、あたたかさ (b) 第1次産業が強い (c) 自然(海・さくら・畑)	b 《弱み》 (a) 街灯が少ない (b) 半島の先端という交通不便 (c) 農業後継者問題 (d) 良いところのアピールが弱い
---	--

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

(a) 安心感、つながり (c) 未病	(b) 遊び場(体験ができる場) (d) 医師を充実
------------------------	-------------------------------

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

(a) 文化伝承 (c) バリアフリー歩道	(b) 防災情報発信 (d) 市の良い場所・観光情報発信
--------------------------	---------------------------------

c しごと (産業振興・観光)

(a) 農業や漁業の考え方を考える (c) 市民生活と観光のバランス	(b) 地産地消
---------------------------------------	----------

d 自然 (自然・環境)

(a) ありのままの自然の魅力	(b) サンライズ、サンセット
-----------------	-----------------

イ Bグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 子育てがしたくなるまち
- b 年齢関係なく安心できる
- c 公共交通の充実したまち
- d 脱ベッドタウン
- e 景観の美しいまち

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|--|
| a 《強み》
(a) 人と人とのつながりが強い
(b) 海洋教育、野外教育 | b 《弱み》
(a) 公共交通が不便
(b) 街灯が少ない
(c) お店(事業者)が少ない |
|---|--|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 福祉を優先順位をつけて無料化
- (b) 小学校の職業体験を増やす(農業・漁業)
- (c) 予防医療を進める
- (d) 市立病院を総合病院に

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) 地区の文化のよさを知る、交流できるイベント
- (b) 施設の多くに防犯カメラの設置(子どもの安全)
- (c) 子どもの遊具を公園に増やす

c しごと (産業振興・観光)

- (a) 雇用の場を増やす
- (b) 地産地消を進める
- (c) ブランドの食品をつくる
- (d) 市民と観光客の交流の場をつくる

d 自然 (自然・環境)

- (a) いいところは10年後まで残してほしい
- (b) 波の力によるエネルギー開発

ウ Cグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか（三浦市の将来像）

- a 未来を感じられるまち
- b 子育てが充実して子どもが生きやすい市
- c 高齢者や子どもが安心して暮らせる（過ごせる）
- d 安心して働ける場所を増やす
- e 自然が整備されたキレイな三浦市

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|--|
| a 《強み》 <ul style="list-style-type: none">(a) 地域の繋がりが強い(b) 都心へ一直線(眠って通勤)(c) 食べ物がうまい 野菜・魚類(d) 自然が豊か(e) 海が近い | b 《弱み》 <ul style="list-style-type: none">(a) 夜間や休日の診療体制(b) 市内の交通の便が悪い(c) 子育て・介護している人の家族の働ける場所が無い |
|---|--|

(ウ) テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

a ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）

- (a) 介護用品の補助金
- (b) 農業体験や漁業と子どもが関われる機会
- (c) 未病対策をもっと広げる
- (d) 出産できる病院の整備

b まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）

- (a) 昔の遊びなど子どもたちに教える
- (b) 災害ボランティアネットワークの普及
- (c) どこに避難するべきなのか明確に分かるとよい
- (d) 交通渋滞解消

c しごと（産業振興・観光）

- (a) 伝統の担い手
- (b) 三浦の特産品を活用した保存食の開発
- (c) 参加型の観光
- (d) 市民の方がまちをガイド

d 自然（自然・環境）

- (a) 見やすい、ふれやすい整備された自然
- (b) 観光を大事にしつつ、自然を壊さないようにする
- (c) 自然環境を活かした散策路とガイドコース

エ Dグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 三浦市から出たくないと思えるまち
- b 子育てしやすいまち
- c 障がいがあってもなくても安心して暮らせるまち
- d 都心にアクセスしやすい交通
- e 観光客がたくさん来る、しごとがたくさんあるまち

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|---|
| a 《強み》
(a) 人の面倒見が良い
(b) 近所付き合いが良い
(c) 野菜や海産物が美味しい
(d) 城ヶ島など観光スポットがある
(e) 夏は涼しく、冬はあたたかい | b 《弱み》
(a) 出産する場がない
(b) 公園の管理ができていない
(c) 交通が不便
(d) 道路の整備(車など) |
|---|---|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- | | |
|---|-------------|
| (a) 障がい者が就職するためのセミナー
(b) 子どもの居場所(サードプレイス)
(c) 部活動に対する取組 | (d) 市立病院の充実 |
|---|-------------|

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- | | |
|--|---------------|
| (a) 住民が集まれる場・イベント
(b) 顔見知りになれる避難訓練の実施
(c) 交通渋滞が緩和される道づくり | (d) 上下水道の施設強化 |
|--|---------------|

c しごと (産業振興・観光)

- | |
|--|
| (a) ツールド就活(企業や職場をまわる)
(b) 大手企業とコラボしたまちづくり
(c) 畑を生かす
(d) 市民がすすめる観光地情報(市民参加型) |
|--|

d 自然 (自然・環境)

- | |
|--|
| (a) 空が広い
(b) 海水を利用して飲み水にするブランド開発
(c) 星を見る会 |
|--|